

ゼロトラストネットワークアクセスの導入を容易にするクラウド型プロキシの開発 — Revolutionary Zero Trust Service —

小林 麟太郎(The University of Edinburgh, College of Arts, Humanities and Social Sciences)

デジタル庁公表のゼロトラストアーキテクチャ適用方針に沿ったクラウド型プロキシをフルスクラッチで開発

システムの5つの特徴

1. ユーザのアカウントとデバイスを一元的に管理します。
専用のソフトを通じてデバイスのTPMやBitLockerの状態まで取得し、アクセス制御の要素として利用できます。
2. クラウドサービスへのアクセス制御ポリシーを日本語で自由自在に記述できます。
難しいポリシー記述言語の習得は一切不要です。
3. 社内システムへのアクセス制御ポリシーも日本語で自由自在に記述できます。
専用のトンネリングシステムを通じてルータやファイアウォールの設定なしに安全にインターネットからアクセス可能にします。VPNソフトをインストールする必要はありません。
4. ウェブフィルタリングについても同様に自由な制御ポリシーを作成できます。
デバイスのプロキシ設定から簡単に導入可能。
5. すべてのログを一括管理します。またログを分析し、不審なアクティビティを検知し遮断します。
即時のセキュリティ通知によりお知らせします。

容易な導入を実現する4つのシステム

すべてWeb上から統合的に管理可能

デバイス認証基盤システム



ユーザアカウントおよびユーザが保有する
デバイス情報を一元的に管理するシステム

アクセス制御ポリシーシステム



ユーザの身元やデバイスの情報に基づき、
保護リソースに対するアクセスを制御する
ポリシーを作成・施行するシステム

インターネット制御監視システム



ユーザ側からインターネット側へのアクセスを
制御するポリシーを作成・施行するシステム

アクセスログ総合管理システム



アクセス制御ポリシーから取得したアクセスログ
およびインターネット制御監視システムから
取得したゲートウェイログを管理するシステム

